

令和3年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

No.	予算科目	事業名
3	7款1項3目	二次交通対策事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	20	JR、飛行機及び路線バスを補完する交通手段としての二次交通対策の必要性は高い。交流人口・関係人口の拡大には必要な事業である。より利用してもらうためには、周知方法に工夫が必要である。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	20	必要性同様、JR、飛行機及び路線バスを網羅し、利便性を確保しているため妥当性は高い。また町内唯一のタクシー会社と東北内のレンタカー会社とも連携しており、良い仕組みである。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	15	利用手続きの簡素化や宿泊客以外の観光客も利用できるようにした方が良い。改善すべき点がある。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	13	令和3年度は利用者が増加しており評価できる。周知方法やPRを徹底すれば成果はもっと上がるのではないかと。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	68
	2 良好である 75～99点	
	③ おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	本町の観光戦略を考えるうえで、二次交通対策事業は重要である。数ある観光地から本町を利用者に選んでもらうには、この制度を知ってもらい、かつ利用してもらう必要がある。そのため、より制度のブラッシュアップ、周知徹底・PRをしなければならない。具体的には、利用者にアンケートを行ったり、山形駅からのアクセスを考慮すべきである。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
この制度に関する課題は多いが、本町観光の発展を考えた時に、アクセスの確保は必要不可欠である。より利用してもらうために、ホームページやパンフレットをより分かりやすく整理し、PRをする必要がある。また、この事業内容を再検討し、利便性の向上を図るべきである。